



記念コンサートに向けて、野上貴子先生による指導が始まりました。(4/8)

感動を 娘と共に！



テノール
表田 八郎

私と大正フロイデとの出会いは、音楽が大好きな娘が、第一回定期演奏会で第九を歌った感動を、是非父にも味わってほしいとお願いからでした。私は第二回演奏会に向かって入団させて頂きました。そして、千鳥体育館での第二回演奏会の開演です。オーケストラ、指揮者、ソロの方々、みんな素晴らしいプロの先生方です。会場には沢山のお客様が今か今かとお待ちでした。娘と共に、あの第九を、同じ舞台上に立ち歌った感激

「溜め息」が出ます。



ソプラノ
森兼 洋子

「大正区で第九の合唱団を立ち上げるそうよ！是非参加したら」と声をかけられ、なげなく参加したものの、今まで日本語以外では、歌を口ずさむ事の無い私でした。ラテン語・ドイツ語の歌詞の発音に「これで大丈夫？」と疑問を持ちつつ、

この二月で五回目の定期演奏会が終了しました。そして今度は、モーツァルトの「レクイエム」を全曲、しかも、「いずみホール」で歌うとは「あつかましいナ」今は、ともかく楽譜どうりに歌い、一生懸命ついて行くしかないと思ひ頑張っています。会場へお越しくくださった方々に『感動』を与えられたらいいナと思ひます。しかし、今はとても気が重い、「溜め息」がでます。「レクイエム」完全にマスターできるの？「フツ」

こんにちは 自己紹介します。

心を一つに 「いずみホール」へ発信！



ソプラノ
小路 美穂子

「ショウジ ミホコ」と申します。よろしく！お願ひします。フロイデに入団して、もう五年以上も経ちました。早いものです。いつも元気だけが取り柄の私が、病に倒れ、発表会やコンサートを断念。どんなに悔しい思いをしたことか。でも、何時までも悔やんでいても仕方が無いと心を奮い立たせ、又、主人や

私の心の財産・宝物



ソプラノ
博多 智恵子

大正フロイデの定期演奏会、二年間は客席で聴きました。歌ってみたいと思う気持ちで沸々と湧き、軽い気持ちで入会し、気が付いたら輪の中に交じって練習している自分がいました。でもね、見て聞くのと、歌うのとは大違い。「難しい」ドイツ語・イタリア語・

よろしくネ！

娘に励まされ、九月四日「いずみホール」でのコンサートに向けて、今頑張っています。指導して下さい。西本先生や諸先生方、又、気持ちよく私の為の為に動いて下さる役所の皆様方、この場をお借りして、心よりお礼申し上げます。最後に、フロイデの皆さん、心を一つに「いずみホール」に向けて発信して参りましょう。ガンバリましょう！！フレンドリーフロイデ！

「団報の編集員」を

募集しています。

言葉の発声・巻き舌・・・無理！年数を重ねると練習曲も増え、難しく付いていけなく落ち込む事もありました。でも、思い直してCDを聞いて覚えようと努力するものの中々で、悪戦苦闘しています。練習のときは、周りの歌声に吸い込まれるように歌っては、心の中で歌った気分(?)になり、満足感で一杯です。



以前、大正フロイデに所属していた人に「難しくなって大変」と私がよく言うので『大変な事があるからいいんやで！何も無かったら、面白くも何にもないよ』と背中を押され励まされています。とにかく、休まないで練習に参加するのが私の一番のセールのポイントかな？仲間の歌声に助けてもらいたいのです。西本先生・小川先生・角地先生方のお陰で、いろんな舞台上に立ち、今までに無い経験をさせてもらいました。私の心の財産であり、また宝物です。大正フロイデパンザイ！これからよろしくお願ひします。